

きょうかいがっこうコーナー

2021年5月30日

さんみいったい しゅじつ
三位一体の主日

ふくいん・マタイ28・16~20

(そのとき) 11にんのでしたちはガリラヤにいき、イエスがしじしておかれたやまにのぼった。そして、イエスにあい、ひれふした。しかしうたがうひともいた。イエスは、ちかよってきていわれた。「わたしはてんとちのいっさいのけんのうをさずかっている。だから、あなたがたはいつて、すべてのたみをわたしのでしにしない。かれらに、ちちとことせいれいのなによってせんれいをさずけ、あなたがたにめいじておいたことをすべてまもるようにおしえなさい。わたしはよのおわりまでいつもあなたがたとともにいる。」

わたしたちはいのるとき、「ちちとことせいれいのみなによって。アーメン」といってじゅうじかのしるしをします。

きょうのふくいんでは、イエスさまが「ちちとことせいれいのみなによって、すべてのひとにせんれいをさずけなさい」とおっしゃっています。

①「ちち」とは、このせかいをおつくりになり、わたしたちにいのちをあたえてくださったかみさまのことで、おんちちともいうことができます。(てんにおられるわたしたちのちちよ)「しゅのいのりのときとなえています」

②「こ」とは、ちちであるかみさまのひとりごであるイエスさまのことをさします。イエスさまはわたしたちとおなじようにこのよにうまれました。イエスさまのやくめは、ちちであるかみさまのことをひとびとにつたえるということでした。ちちであるかみさまといつもおなじ一つのころだったので、いえすさまのいきかたをみれば、かみさまがどういうかたかもわかります。かなしんでいるひとびとのおともだちとなってくださいます。イエスさまのおかげで、わたしたちはちちであるかみさまはどんなかたであるかがわかります。またかみさまの「みむね」(のぞまれていること)はイエスさまはせかいじゅうのひとのくるしみ、かなしみからすくうために、じゅうじかにかかなくなってなくなることでした。イエスさまがふつつかれて、いまはおんちちのもとにいかれ、あらゆるものをおさめるかたとなられました。ですから、わたしたちは主^{しゅ}イエスさまをあは「こであるかみさまとよびます。

③「せいれい」はちちであるかみさまとおんひとりごイエスさまからわたしたちのもとにつかわされるかたです。わたしたちひとりひとりのころのなかにはたらいて、みちびいてくださる。イエスさまのいきかたをするためのちからとたすけによってはげましてくださいます。

ちちとことせいれいのかみさまはかんぜんに一つです。このことを『さんみいったい』^{さんみいったい}といひます。わたしたちは「ちちとことせいれいのみなによって」というとき、かみさまのすばらしいちからとはたらきをねがっています。

クイズ

①わたしたちはいのりをはじめるときにどういいますか。

②どんなしるしをしますか。

③ごミサが始まる時、しんぷさまは、どういいますか。

ぬいえ

しかくのなかにどんななまえをいれたらいいでしょうか。

